

## おわりに

2009年9月に始まった第5期板橋区地域デザインフォーラムも1年4か月余の時を経て、この刊行物を以て終わりとなりつつある。ただ忘れてはならないのは、あくまでも板橋区にとっては、これらの共同研究の成果は、区民にとってより良い政策を行うためのスタートラインであって、今後は何らかの形で共同研究の成果を具体的に区政に生かせるような行政内部でのシステムが求められよう。もっともこれには将来先進的な自治体として、逆に他自治体の視察対象になろうと思う位の心意気が必要となる。何処かで見聞したシステムを区で導入するのは難しいとしても、今回は10か所余の視察を行った訳であるから、区民に刊行物やPDF以外の形で成果を広く啓蒙・紹介することはできないかと思わずにはいられないのである。またフォーラムに参加した職員たちには関連分野の審議会を直接的であれ間接的であれ担当させ、知識を実践の場にフィードバックさせる機会を設けるべきである。

それにしても今回は、多くの視察場所で少なからぬ方々にご親切で誠意あるご対応をして戴いたことに対し、感謝の念に堪えない思いである。区外の視察では、葛飾区の前田正憲地域振興課長、松本重人地域振興課市民活動推進担当係長、黒澤幸恵地域振興課市民活動担当、財団法人世田谷トラストまちづくりの浅海義治課長、宝塚市の伊吹章市民協働課副課長、宝塚市の中山台コミュニティの飯室裕文会長、特定非営利活動法人新開地まちづくりNPOの古田篤司事務局長、池田市の豊福幸市総合政策部分権担当監に大変お世話になった。また板橋区内では、相田治昭政策企画課担当係長・小西達也政策企画課主査・吉田有政策企画課主任、グループけやきの飯島廣夫氏・斉藤ツヤ子氏、南ときわ台民間交番管理運営委員会小林保男事務局長、沼俊一地域振興課協働推進担当係長から有意義なお話を伺うことができた。これらの方々に厚くお礼申し上げる（順番は訪問順、肩書は訪問当時のもの）。

2011年1月15日

